

かづ、まゐる。四日、中納言殿、ゑもんのすけどの、さいまやうどの、どれくも三色三か参、五日、せんじどの、あやのこうじどの、三色三か参、さきやうどのより三色二か参、大二どの、まきぶどのより、三色三かづ、まゐる、をはりどのより二色一かまゐる。六日、御つま五れう人より三色三か参、いせ殿、たまがき殿、いつめきどの、あは殿、こさこんどのより二色二かづ、参。七日、女この宮のかた、いつの宮の御かた、たへんきみ御れいになり、ひめぎみも女二の宮の御方より、杉原三十でう、くれなる二きん参、いつの宮の御かたより、よしの十まる参、へんきみより、やき物のとくり参、ひめぎみより、御茶わん十参、花山院大なごんより、ゑむしろ三まいま、上御いさの御かた御やく五れう人より、ひき十でう御あふぎばこ一つま、上御ちの人よりも、ひき十でうみづひきま、上、一條殿御かたの御所御禮にさんだいなる、常の御所にて御さかづき一こん参、御みつざかなもいで申候、御かたの御所より、人ぎやうのやき物参、御三つざかなもいで申候、きやうごくどの御まゐり、御さかづきたぶ、きやうごくどのへも御みつざかなもいで申候、きやうごくどのより、十でう御あふぎばこ、御たる、三色三か参、九日、ゑんまん院殿、三色一かまゐる、まやうれんじどのより、三色三かまゐる、まづさう院殿より、三色三かまゐる、かぢるどの、大まやうじどの御むろの御所、くわんま、ゆうじより、三色三かづ、参、まやうご院殿より、三かう三かまゐる、りまやう院殿、三ぼう院どのより、十でう一ほんづ、参、石山寺せんそう院、十でう一ほんくわんま、ゆを進上、同そち院よりも、二い殿御連井殿御まゐり候て、○中御まうぎとて、こだか三十でう、ちやわん人ぎやう参、

〔看聞日記〕永享六年正月五日、抑自室町殿○足利、義教、鶴一、榎十給之、毎年佳例云々、令祝著、宮御方へ球

杖三枝、玉五色々々、板二時繪、線色、風流、こきの子五、被進、言語道斷、殊勝、驚目、畢、御自愛無極、若宮まで

被入思合、如此之物被進之條、誠喜悅珍重也、三條へ能々可得其意之由合申、